

南昌だより

2022
No. 44
2022年7月1日発行



医療法人社団 帰厚堂

【基本理念】

「愛と誠の精神」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします。

また、
信頼される医療を提供するために
全ての専門職種による
チーム医療に万全を期します。

社会福祉法人 敬愛会

【基本理念】

「地域と共に生き 地域と共に歩む」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします。

また、
信頼される福祉サービスを提供するために
全ての専門職種による
チームケアに万全を期し
その人らしい生活が育まれるよう
支援します。

2022
No. 44
Contents

- 2P…… 職場紹介
- 2P…… スタッフ紹介
- 3P～4P ……リハビリテーション その14
- 5P～8P ……ケアセンター南昌

- 9P…… 志和荘
- 10P…… 悠和荘
- 11P…… 恒和荘
- 12P…… 若園荘
- 13P…… 敬愛荘
- 14P～15P…… 南昌病院
- 16P…… 診療案内



医療法人社団 帰厚堂
<https://kikodo.or.jp/>

社会福祉法人 敬愛会
<http://www.shiwason.jp/>



職場紹介

ラジエーションハウスをご存じでしょうか ＝ 南昌病院 診療放射線科 ＝

皆さんはラジエーションハウスをご存じでしょうか。

窪田正孝さんふんする五十嵐唯織が診療放射線技師として奮闘する医療エンターテイメントで、劇場版ラジエーションハウスが4月29日から公開されています。

診療放射線技師という職業は聞きなれない名前かと思いますが、皆さんが病院などに行き、胸部エックス線写真を撮ったとき、「はい、息をすって止めてください。」というフレーズを聞くと、ピンとくるかと思いますが。以前は「レントゲンの先生」などと呼ばれていましたが、最近の医療界ではレントゲンという呼び方は使いません。

胸部レントゲンは胸部エックス線、CT検査はエックス線CT検査です。実はこの主人公五十嵐唯織は医師の資格を持ちながら、あえて診療放射線技師として仕事をしている異色の設定です。そのようにこの映画を見るとよく理解できるかと思います。

南昌病院・診療放射線科は一般撮影装置、CT装置、透視装置、回診用(ポータブル)撮影装置を保有しております。一般撮影装置では入院時に胸部エックス線写真や骨系の写真を撮り患者様の状態を把握してから入院をしていただいております。CT検査はエックス線を用いて断面像を撮影する装置でより詳細な画像を得ることができます。入院患者様の病状の変化を把握するために、頭部C

T検査では出血や梗塞の状態、胸腹部CT検査では肺炎や腹部ガス(空気像)状態を観察するために用いています。当院はリハビリテーションを主とした病院でもあります。患者様の食べるという行為は欲求の一つでもあり、嚥下機能を高めるアプローチをしております。透視装置を用いて食べ物を飲み込む様子の観察を行い誤嚥などの嚥下機能の評価を行い、安全と安心を確保してリハビリを行っております。当院にはご高齢の患者様も入院しており栄養管理のためにお体に管を入れることもあります。回診用撮影装置を病室に出向き、管の位置確認のために撮影を行っております。

このように診療放射線科は患者様に寄り添い、安全で安心な医療を提供するために日々活動しております。

(文責 診療放射線技師長 村上龍也) エックス線CT検査操作室



スタッフ紹介

介護士として大事にしている芯

初めまして。悠和荘で介護福祉士として勤務している佐々木圭と申します。私が介護業界に飛び込んだきっかけは、自分が進もうと思っていた道で上手くいっていなかった時に、お世話になっていた看護師さんに「君は優しいから介護の仕事とかも向いていると思うよ」と言われたことでした。

自分だけでは想像もしなかった道に心機一転で飛び込み、グループホームで約5年間お世話になり、良縁に恵まれ昨年の7月より悠和荘でお世話になっております。もともと祖父母に育てられていた事もあり、高齢者の方に喜んで貰いたいという気持ちが強かったのも幸いして、大変ではありますが介護の仕事を楽しいと感じております。実際に仕事の忙しさで疲れている事があっても利用者の笑顔や「ありがとう」の一言で「頑張ろう!」という気持ちが湧いてきます。

そんな介護の業界ですが世間の評判は芳しいものではなく、時には「現代の姨捨山」と心ない揶揄を目にしたこともありましたが、だからこそ私は、利用者にとっては最後の時間を過ごす事になるかもしれない施設での生活の中で、少しでも利用者が笑顔になれるような関わりをしていきたいと考えています。今まで周りの人や社会の為に尽くしてきた人たちの最後が悲しさや寂しさで終わってしまうのはとても悲し

い事なので、少しでも利用者の最後が良いものであるようにお手伝いしていきたいと感じています。

また利用者のご家族とお話をさせて頂いた時に「施設に入れる事になってしまった」という罪悪感や後悔を度々耳にする事がありました。確かに私も両親には最後まで暮らしてきた家で過ごして欲しいという想いもありますが、介護の仕事をしているからこそ、仕事などをしながら親の介護もする難しさを知っているつもりです。ですからそんな罪悪感を抱えるご家族にも「この施設に入れて良かった」と安心して貰えるような介護士にもなりたいと感じております。

まだまだ未熟で失敗や悩んだりする事が多い毎日ですが、少しでも利用者やそのご家族に笑顔を運べるような介護士になれるよう頑張っていきたいと感じます。



地域密着型
介護老人福祉施設
悠和荘
介護福祉士
佐々木 圭



支援に役立つ(かもしれない)認知機能の話① ～認知機能は土台から～

認知機能という言葉 皆さんは聞いたことがありますか。

今回は脳の話になりますが、脳にはいろんな機能が備わっています。

大きく分ければ ①運動機能、②感覚機能、③自律神経機能、そして④認知機能です。

認知機能は多くの人が

“頭の働き(例:記憶力、注意力、感情・言語など)だと思っているもの”です。



そして人間の脳は役割が分かれています。

大まかに3段階の構造をしていて、それぞれ以下の通り役割が違います。

- ① 脳の内側: 感情、注意、記憶など基本となるもの
- ② 脳の外側: 前で行動、後ろで認識
- ③ 連合野: 制御(前で運動・行動の制御、後ろで感覚・認識の制御)

このうち、①と②は動物と大きく変わりません。いわば動物の脳を土台にして、ヒトの脳がそれをコントロールしているとイメージするとよいと思います。

つまり「ヒトの認知機能の土台は動物と共通の脳の部分」なのです。

その上にヒト独自の脳が乗っているような構造をしているのです。

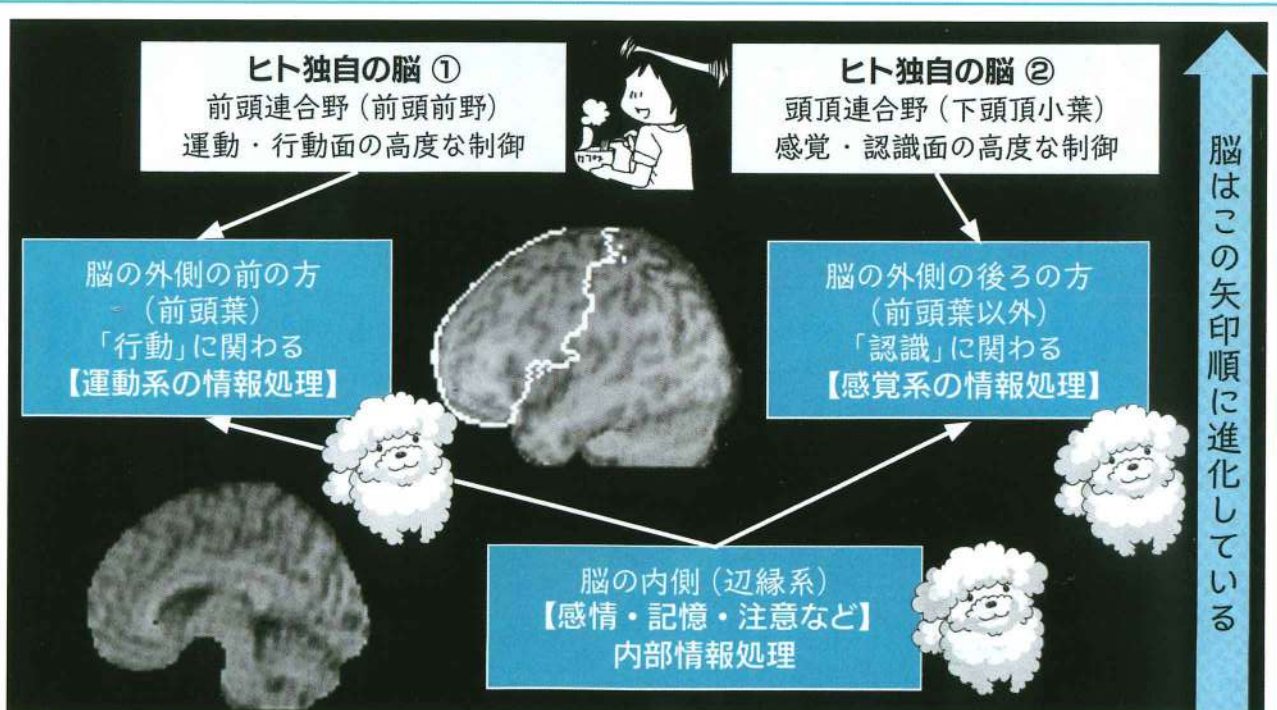


図1 櫻間 剛 2017 高次脳機能障害・発達障害・認知症のための邪道な地域支援養成講座より

違う言い方をすれば **動物と共通の脳の部分がスマホ本体、ヒトだけの脳の部分がアプリ** みたいな理解をすればいいと思います。アプリの不具合だけだと思ったら、本体の不具合だったということもあり、本体を整備したら上手く動くようになったということがあります。

また、動物の脳の本能的な欲求は内蔵の状態が起源で、自分の体調を保つための欲求になります。**認知機能がきちんと働くには、特に感情・欲求などの認知機能の土台部分を大切にしないと自分自身という動物が言うことを聞かなくなってしまう**ので土台づくりが大切になるのです。

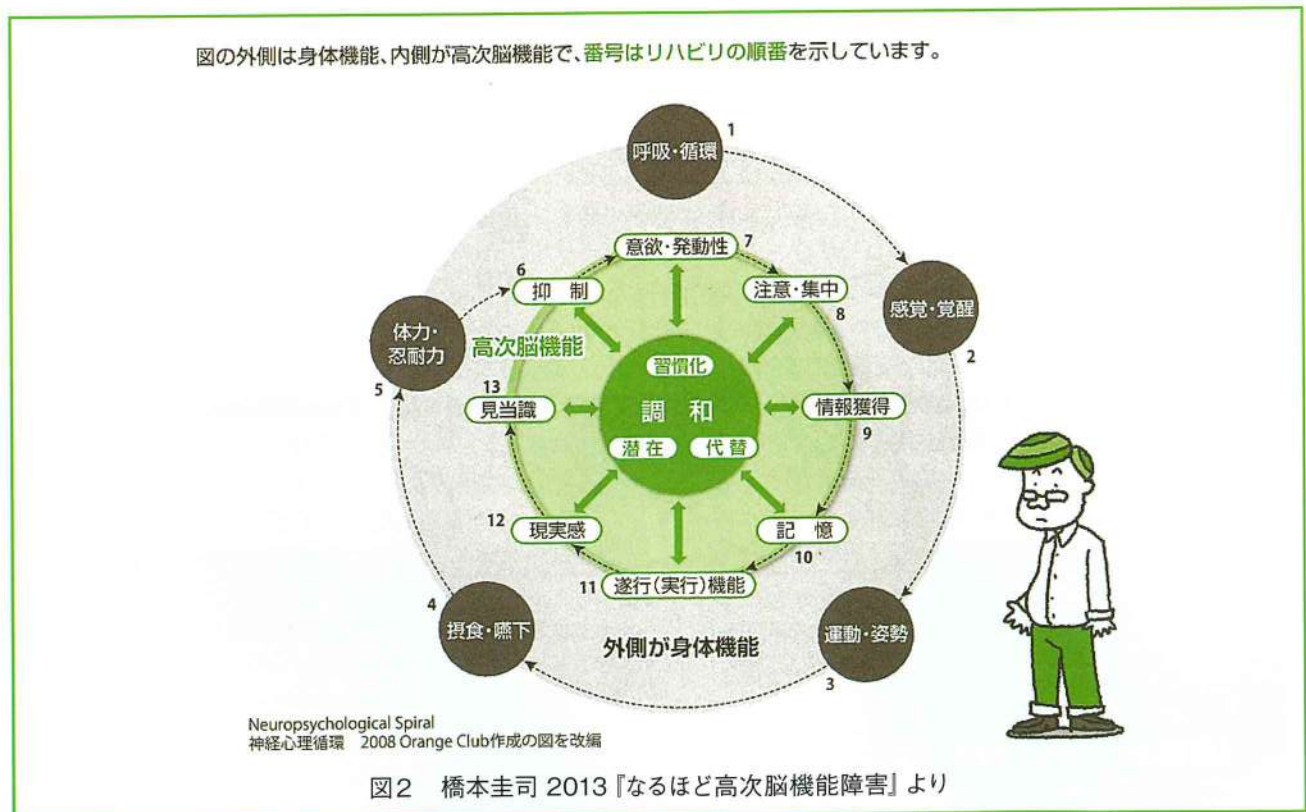
理性がよくて感情はダメ、ではなく、良い影響はどんどん活かそうという考え方が認知機能が低下している方へ支援をしていくトレンドになっています。

そのため、よい影響になる「条件」をみつけて介入していくことが大事になります。

「条件」の一つは**見た目の体調、つまり見て分かる体調の良好具合**です。もう一つは**環境（状況）**です。こちらは**今までの生活で本人が安心出来ていた良い環境や状況を活かすのがよい**と言われていています。そういった環境を整えて楽しんでやれている人の方が力を発揮しやすいのです。

下の図は高次脳機能障害を持つ方のリハビリで高次脳機能を整えるための順番です。（高次脳機能と書いていますが、認知機能と一緒に捉えて下さい。）

外側の身体機能が整ってくることで認知機能が向上していくため、認知機能を独自で鍛える以前に体調や身体機能を整えることが必要になるのです。



感情のコントロールは難しいので、まずは感情に影響を与えるもので支援可能なところに注目して生活をみていくのが大事です。そのために土台作りをしっかりとしながら、ポジティブな行動支援を目指していきましょう。

<引用文献>

- 梗間 剛 2017 高次脳機能障害・発達障害・認知症のための邪道な地域支援養成講座 三輪書店
- 橋本圭司 2013 朝日福祉ガイドブック なるほど高次脳機能障害 誰にもおきる見えない障害 朝日新聞厚生文化事業団

各施設から

ケアセンター南昌での主な取り組み

【雪あそび】(こずかたこども園)

今年は沢山の雪が降りました。
センター屋上の広場に、バスの運転手さん方が雪で大きな滑り台を作ってくださいました。
子どもたちは『ワー!! すごーい!!』と歓声を上げ大喜び。代わる代わるすべり、楽しみました。



感染防止措置により、センター内での交流も規制されているなか、準備をしてくださった職員の方々に感謝して過ごしています。



【お別れ会】(こずかたこども園)

今までたくさんお話をしてくれた、あこがれのめろん組のお友だちとも3月でお別れです。感謝の気持ちを込めてお別れ会をしました。
『みんなのことを忘れないでね』と思いを込めて手作りプレゼントを渡したり、一緒にボール送りゲームをしたりして遊びました。めろん組さんリクエスト給食も楽しく食べました。
小さい組の子どもたちが、「めろん組さんありがとう」と何度も声をかけていました。「プレゼントもうれしかったけど、『ありがとう』って言われたのがもっとうれしかったなあ」というメロン組さんの成長に、みんながうれしくなりました。
小学校でも元気にがんばってね。



【誕生会】(博愛荘)

年度末の誕生会では、歌・踊りが得意な職員による余興を披露しました。
 普段の、仕事をしている職員の雰囲気と違い、キレイな着物を着て歌ったり、踊る様子にみなさん見とれ、たいへん喜ばれておりました。
 余興の最後にはみなさん交代で記念撮影をし、笑顔いっぱいの誕生会になりました。



【日常活動の中から】(デイサービスつむぎ)

デイサービスつむぎでは〈ペーパークイリング〉を取り入れてます。
 〈ペーパークイリング〉とは細長い紙をクルクル巻いてパーツを作りそれを組み合わせて作品に仕上げるペーパークラフトです。

巻く・切る・貼るなどの作業を通じ、手指の「巧緻性」の維持向上を図っています。

また、色の組み合わせを考えることで脳の活性化を促しています。

※巧緻性…運動の際、身体を器用に動かす能力の事です。



『認知症のかたと一緒に作業するコツ』は全体への目配りと個別対応だと言われています。

私達職員も全体に目を配りながら、サポートが必要な方には個別で対応するようにしています。

作って見せてあげる、見本を見せてあげる、手を添えてあげる、一緒に作ってあげる、作業をするのが難しい方には、色を選ぶ、貼る位置を決めるなど、作る以外の部分で参加してもらいます。それでも難しいところは、同じ場所にいて見てもらうだけでも参加している気持ちになります。

その利用者ができること、楽しめることを見つけ、それを成し遂げることによる達成感を得てもらえるようにしています。

日常生活に於いても、できる事を増やして行って、より多くの達成感を得ていただける様に努めていきます。



【コロナでも楽しく過ごせる工夫】(ショートステイやはば)

コロナ禍であり、なかなか外に出る機会がない状態ですが、レク活動を工夫しながら対応しています。春の気配を感じる頃。相撲の3月場所にちなみ、力士と行司を貼り絵で作りしました。力士のまわしは、桜の花模様にし、利用者各自で貼るところを決めて黙々と集中していました。「この色はどうかしら」「こんな感じでいいかな」と話して作っていました。出来上がりを観て「足の力の入り方がすごい!!!」と話していました。今後も利用者のニーズに合わせ、楽しくなる活動を出来ればと思っています。



【クリスマス会】(敬寿荘)

クリスマス会を開催しました。職員のギター演奏に合わせて、皆さんで歌を歌いました。クリスマスプレゼントはお箸です。みなさん食事の際に使っています。クリスマス会以外にも、卓球や風船バレーをしたりと身体を動かし過ごした一日でした。



【豆まき】(敬寿荘)

今年も敬寿荘内で豆まきをしました。鬼の仮面を被った職員に、皆さんが楽しそうに豆を投げておられました。コロナ禍でなかなか外出することが出来ない中、豆を思いっきり投げて、ストレス発散となりました。



【大運動会】(デイケア)

年末恒例 大運動会!!

- ・風船割り物送り競争
- ・ドーナツ食い競争
- ・じゃんけん大会 を 実施しました★

風船割り物送り競争は、利用者に風船を繋いでもらい、回ってきた風船を職員がおしりで割る競争です。軽い風船を隣に回す動作は簡単に見えて難しかったです。ドーナツ食い競争は、職員付添いのもと、歩ける方は歩いて競争しました。

大きな口で頑張ってドーナツを取りました!

じゃんけん大会は吉岡施設長も参加しての大会。

1位・2位・3位 を決めました。

じゃんけん中は、しっかりと手が見えるように上まで手を伸ばしてじゃんけん!

職員の優しい審査にて1位～3位まで決定しました♡♡



当日、利用者より

「今年最後にこんなに笑えて良かった」「全員参加のレクリエーションは来ている皆の笑顔が見られて良かった」「職員も全員いて楽しかった」とお声をいただきました。

令和4年度も、この恒例の運動会を続けていけると良いなと思います★



お昼ご飯はお弁当。
栄養科の阿部さんと相談して、素敵なメニューを提供できました。
行事の雰囲気を楽しみながら、とても美味しくいただきました!!

【クリスマス会】(デイケア)

職員全員サンタの衣装を身にまとい、クリスマス会を開催☆

可愛いサンタクロースに変装した男性職員が登場すると、歓声が上がりました!

昨年、一緒に写真を撮りたいとの声が多かったので、今年は写真撮影タイムを設けて希望者と写真撮影ができました。

利用者より

「年末になったという実感がわいてきた」「自宅ではなかなか出来ないクリスマス会をする事が出来て良かった」「とにかく楽しかった!」と、声をいただきました。利用者も職員も楽しい時間を過ごす事が出来ました☆



【クリスマスケーキ】

12月25日(土)、白石食品工業株式会社様よりクリスマスケーキを頂きました。白石食品工業株式会社様は、長年県内の福祉施設にクリスマスケーキを贈る活動をされており、入居されている方々は、とても楽しみにしています。

サンタに扮した職員が「メリークリスマス！！」とケーキを抱えて現れると、皆さんの顔から笑みがこぼれます。美味しいケーキを召し上がり、幸せなクリスマスのひと時を過ごしました。



【成人式】

1月9日(日)、職員2名が成人式を迎えました。式の前に入居している方々に晴れ着を見せに来てくれました。普段の仕事着とは違う振袖を着た姿を見て、「綺麗だね〜!」「べっぴんさんだあ」「お人形さんみたいだね〜」と喜び、目を細めていました。



【新年弁当】

1月13日(木)、新年恒例の「新年弁当の会」が開かれました。感染症予防対策のためユニット毎に行いました。天ぷら・うなぎ・煮物・ちらし寿司など、豪華な品々の詰まったお弁当を「美味しい〜」と召し上がっていました。



楽しいアトラクションもありました。“ソーだんず with S”による「スコップ三味線」。津軽三味線とロックンロールの融合、スコップの音が響き渡り、抱腹絶倒のうちに幕を閉じました。



【すみれ町 節分】

2月3日(木)、すみれ町で節分の豆まきが開催されました。豆の代わりに丸めた新聞紙を投げ、悪い鬼を退治しました。威勢よく「鬼は外一、福は内一、鬼の目ん玉ぶっ潰せー」と玉を投げ、日頃のストレス発散にもつながっているようでした(?)。

厄を払い、無病息災を祈念しました。



【ききょう町 駄菓子屋】

2月7日(月)、ききょう町で駄菓子屋レクを行いました。志和荘通貨で、目を輝かせながら「どれにしようか〜」と好きな駄菓子を選んでいました。

「昔は10円を握りしめて買いに行ったな〜」「親に盛岡の鉈屋町の駄菓子屋に連れて行ってもらったな〜」「クジを引いても、なかなか当たらないんだよな〜」と、とても懐かしそうでした。

美味しい駄菓子を食べ、懐かしい思い出に浸りながら楽しく過ごしました。



悠和荘

施設紹介

地域密着型介護老人福祉施設：地域密着型の施設です。入所は矢巾町の方限定ですが、短期利用はどちらの方でもご利用できます。先ずはご相談を！

避難訓練【日中想定】

日中想定避難訓練を11月に行いました。コロナ禍の影響で入居者の参加を控え、職員のみで行いました。避難誘導の手順や経路の再確認ができました。新人職員も参加しましたが、消火器や放水の使用方法、指差しや大声での確認の必要性を学びました。



入居者の一番の楽しみ、おやつ作り



11月から3月までの間に、おやつ作りを20回行いました。昔懐かしいがんづきから、バラゼリーまで毎回入居者の楽しみです。おやつは提供されるとみんなあつという間に食べきってしまいます。「あ～！うまかった～」と言われるとこちらも嬉しくなります！4月からも感染対策を行い、作っていきます！



令和4年！新しい年を迎えました！

元旦は職員が制作した悠和荘神社にて元昼参りをしました。今年のおみくじは大吉を引いた利用者が大半で、こり笑顔で新年を迎えました。そして、恒例行事の新年会と獅子舞です。頭を噛まれて邪気を食べつくしてもらいました！これで今年の疾病退治は完璧です！



太鼓の音と共に鬼登場！



春の訪れを待ちわびながら皆さんと節分の豆まきを行いました。「ドン！ドン！…」と太鼓の音が聞こえたら赤鬼と緑鬼が太鼓片手に登場です。「鬼は外！福は内！」と勢い良く豆をぶつけて鬼退治！皆さん大笑いで盛り上がりしました。最後は降参した鬼と仲良く記念撮影。邪気を追い払い「また一年元気で過ごせますように」願いを込めた1日でした。



お雛様、美人だなあ♡

玄関に7段飾りを二つ飾りました。♪あかりをつけましょ ぼんぼりに～♪オルゴールの曲を聴きながら「お雛様美人だなあ」とお人形と一緒に笑顔で写真を撮りました。そして、ひな祭りといえば、甘いお菓子ですね。「美味しい！！」と大好評だったプリン・モンブランを頂き、また笑顔になりました。



クリスマス会

令和3年12月24日、恒和荘のクリスマス会を開催致しました。今年のクリスマス会も、コロナ感染拡大防止の観点から職員と利用者の方のみの参加で行いました。職員がトナカイとサンタクロースの衣装をして盛り上げました。

昼食のメニューは、皆さんが大好きな揚げ物やスパゲッティ、スープが出て皆さん美味しいと言って召し上がっていました。

食事の後は余興の時間で、職員による楽器演奏や全員による合唱をしました。皆さん、元気にクリスマスソングを熱唱されていました。

その後は、全員参加によるゲーム大会を行いました。ジェスチャーゲームでは、皆さんテンポよく当てられていてびっくりしました。次に、恒例のビンゴ大会で皆さん真剣な眼差しで数字とにらめっこされていました。景品のプレゼントに大喜びされていました。

最後は、全員できよしこの夜の大合唱でお開きになりました。コロナ禍により、外出やイベントの制限がある中、利用者を喜ばせようと職員が一丸となり準備をしました。利用者に喜んでもらって満足のいくクリスマス会になりました。



「恒和荘」の閉所について

小規模多機能型居宅介護事業所「恒和荘」は、平成22年5月の開所以来12年間ご愛顧いただきました。しかし、諸般の事情により経営が厳しくなり、令和4年4月30日をもって閉所いたしました。この間、利用者様及び関係各位から多大なるご協力とご支援をいただいたことに深く感謝申し上げますとともに、謹んでご報告いたします。



若園荘

施設紹介

グループホーム：認知症高齢者が共同で生活できる場（住居）で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。

クリスマス会

12月：若園荘では12月24日にクリスマス会を行いました。

新型コロナウイルス感染予防に留意しながら、久々に2階と3階で合同開催されたクリスマス会でした。

職員の演奏する楽器の温かな音色に合わせ歌を歌い、美味しいケーキと素敵なプレゼントを頂き笑顔溢れる一日となりました。久しぶりに顔を合わせた利用者様！「なに—ずいぶん年取ったなあ—」と大笑いでした。



小正月

1月：行事は毎年恒例の「みずぎ団子作り」を行いました。

みずぎ団子は、みずぎの木の枝に色とりどりの餅を飾り五穀豊穡を祈る小正月の行事です。「懐かしいなあ〜」と慣れた手つきで餅を丸めている利用者から教えてもらいながら、職員も楽しい時間を過ごす事が出来ました。



節分

2月2日(水) 若園荘の恒例「節分、豆まき」が行われました。

今年度も残念ながら各フロアごとの開催となりました。利用者様に節分の由来をお話しながらスタッフ扮するポッチャリ赤鬼の登場でフロア中が大いに盛り上がりました。普段より弾んだ声と笑い声にあふれた豆まきで邪気を払い無病息災を祈りました。また、この日のおやつは利用者様と一緒に手作りした甘納豆入り蒸しパンでした。手際よく作ったパンを皆さんと美味しく頂きました。コロナ禍が長引く中での生活にストレスがたまっていましたが「赤鬼退治」で利用者様、職員共に楽しみました。 福は内コロナ外！



ひな祭り

若園荘にて3月3日(木)にひな祭りをお祝いしました。雛人形を見て「可愛い！」と笑顔を見せられる方、職員お手製の顔だしパネルで満面の笑みを見せてくれる方、様々な反応がみられました。お昼は利用者さんと一緒にちらし寿司作り、具材を混ぜたり、盛り付けたりと真剣な表情で取り組まれておりました。もちろん、皆さんきれいに完食されていました！その後のゲーム大会でも、一番点数の高いカゴにお手玉を入れようとして積極的に狙って投げる姿が印象的でした。おやつは甘酒も好評で皆さん「美味しいね」と召し上がっておられ、楽しい1日になりました。



管理栄養体制加算について

若園荘では、昨年10月から栄養に関する情報交換会を通して法人管理栄養士による栄養指導が行われています。スタッフから集めたアンケートから調理や栄養に関する困っている事を集計し対応方法を教えて頂いております。

現在までの取り組み内容としては

- 「利用者の適正体重を把握し食事の提供量の見直しをする。」痩せ型の体重の方も徐々に標準体重に近づいてきております。また、体重増加傾向の方には、提供量の見直しを行い、食事の提供量の調整や運動を行い、活動量を増やしております。
- 「嚥下障がいのある利用者への対応」管理栄養士に相談を行い、お粥、ミキサー食、ゼリー食など利用者様の食事形態の

見直しをすることにより、適切な食事形態で食事を提供することが出来てきています。お粥もお粥専用の炊飯器を使用し美味しく栄養を取れる様に改善。また、自力での摂取が出来ない様、自助食器を活用しながら支援を行っています。

- 「水分補給について」水分補給の必要性を再認識する事で職員の意識から変わりました。利用者の好みや嚥下状態にあった水分の提供。乳飲料なども活用しながら利用者が美味しく水分補給できるように取り組んでいます。

まだ課題は沢山ありますが今後も栄養指導を通し、利用者様に「美味しい」と思ってもらえる様な食事の提供。利用者が健康に生活できるように改善していきたいと思っております。

動画による口腔ケアの外部研修参加について

3/1～3/25 スタッフ全員参加で動画による口腔ケア研修を行いました。令和3年度チームもりおか主催の動画による市民講座を視聴し各職員がレポートを提出しました。

講演内容は、「口腔ケアで肺炎予防」「口腔機能低下時の栄養摂取法」でした。

コロナ禍にて、外部研修は今後このような流れが増えてくると感じました。また職員からも「自分の時間に合わせて学ぶことができ有意義であった」などの感想がありました。

《職員レポート抜粋》

- ◎高齢者が肺炎になる事の要因がムセだけではないことがあり、症状がないまま繰り返して行われる現象「サイレントスピレーション」があることが分かり一番怖いと思いました。口腔ケアにより口の中の汚れや食物残渣を取り除くことの大切さを改めて感じました。
- ◎今回、口腔機能には食事の工夫が必要なサインがたくさんあり、これからの食事の作り方や一人一人の提供の仕方等が分かり、今後活かしたいと思いました。

♡毎月恒例、お誕生日会♡

毎月恒例のお誕生日会が、食堂で行われました。ステージ上には、お誕生月の利用者に座って頂きました。司会者が利用者一人一人に向けて、お名前・メッセージを読み上げ「Happy Birthday to you」の歌を会場の皆様と一緒に歌い、温かなひと時が流れました。花の首飾りとフラワーアレンジメントのお花をプレゼントされて感動し、涙ぐまれる方もおられました。本当におめでとうございます！



うれしいひな祭り

♪あかりをつけましょ
ぼんぼりに、
お花をあげましょ
桃の花♪

今年も談話室に、7段飾りのひな人形が豪華に飾られました。

とても美しく、利用者も「きれいだねー」「いいねー」と感動してご覧になっておられました。また、おやつ・甘酒もふるまわれ「美味しい」と皆さんであっという間に完食されました。また、来年も楽しみです。



春うらら 陽気な散歩

4月、春風が心地良い季節になり敷地内のお散歩に出かけました。花壇には、チューリップや黄色の水仙・パンジー・ビオラなど色とりどりの花が綺麗に咲いており「わぁ素敵ね!!」「とってもきれいだわぁ」と笑顔。素敵な場所で「はいチーズ」と写真撮影！また、今年もとっても楽しみにしていた桜の木々が、満開になって迫力がありみごとです！



新型コロナウイルス感染症発生時の対応訓練

岩手県でも依然として、新型コロナウイルス感染が拡大しています。高齢者施設関連の感染も全国的に報道されていることから、当施設でも感染対策として様々な研修を行っており、職員一同、日々意識し職務を遂行しております。

3月16日に、感染対策委員会の委員を中心に、新型コロナウイルス陽性者発生時の対応訓練を実施しました。報告・連絡・ゾーニング・ベッド移動・物品準備などマニュアルに沿って行いましたが、利用者への気配りが足りない場面もありました。感染を防ぐことは大切ですが、もし施設内で陽性者が発生した場合、クラスターを予防するために、迅速な対応が求められ、そこには利用者への配慮を忘れてはならないこと、職員のチームワークが必要なことを改めて確認することができました。



「出前講座」忘れていませんか!?

南昌病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 武田 和弘

新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから約2年が経過しました。病院においても面会制限や発熱外来対応など多くの変容を遂げ入院患者や地域住民の感染防止に努めています。感染防止対策には全て看護師が関わっています。健康維持には看護師の支援もあることを忘れないでくださいね。

南昌病院看護科では疾病予防と健康維持・増進の目的で地域住民を対象に出前講座（健康教育）を実施しています。矢巾町健康福祉祭りにも参加していました。出前講座と矢巾町健康福祉祭りにおけるブース企画について、平成30年度は合計7件、平成31年（令和元年）度は合計11件実施しました。年々出前講座の実施が増え、新メニューも考案していたのですが、新型コロナウイルス感染が流行したために出前講座依頼が激減し、令和2年度は0件、令和3年度は1件という結果でした。

仕方がないところでもありますが、全国的にみても感染者は徐々に減っており（ゴールデンウィーク前に原稿を書いていますのでもしかしたら違うかも…。）以前よりは感染対策が緩和されています。地域のみなさんも家族や友人との交流機会が増えているのではないのでしょうか。

出前講座を忘れていませんか!? 地域からの依頼があれば看護師が出向いてお話させていただきます。脳卒中や認知症などの病気のお話や体操を企画しています。ぜひ皆さんの健康の一助とさせていただきます!



過去出前講座の様子



	タイトル	内容
1	NO!脳卒中! ～みんなで防ごう脳卒中～	脳卒中の予防
2	放っておくと危ない!糖尿病 ～正常な血糖値って??～	糖尿病の予防
3	これってまさか、認知症? ～自分が認知症にならないために～	認知症の予防
4	NEW!! 転んでも骨折しない体を維持しよう! ～あなたの骨は大丈夫ですか!??～	骨粗鬆症の予防
5	突然死の危険がある怖い病気 ～心臓病の予防のお話～	心筋梗塞・狭心症の予防
6	意外と多い肺炎 ～ずっとおいしく食べるために～	肺炎の予防
7	高血圧は症状がなくても危ない! ～最適な血圧って??～	高血圧症の予防
8	寝返りができていますか!? ～動かさないとすぐできてしまう床ずれ～	褥瘡の予防
9	NEW!! 栄養バランスを見直そう! ～食事バランスガイドの紹介～	食事内容 (栄養のバランス)
10	「ロコモ」って知っていますか!? ～ロコモチェックで介護予防!!～	ロコモティブシンドローム (運動器症候群)の予防
11	活動量が低下していませんか!? ～サルコペニアとフレイルとは～	サルコペニア(加齢に伴う筋力低下)と フレイル(加齢に伴う虚脱状態)
12	自宅での感染対策 ～効果的な手洗いとうがいの方法って??～	手洗いとうがいの方法
13	薬を正しく飲んでいますか!? ～「食前」と「食直前」は違います～	薬の飲み方
14	「介護保険」ってなに? ～保険制度を身近に～	介護保険制度

☆お問い合わせはこちら☆ 南昌病院 看護科 TEL:019-697-5211

電話にて、担当者/武田 に希望講座をお申込みください。

(担当者不在時は、総看護師長/村松 までご用件をお伝えください)

担当者:脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 武田 和弘

責任者:総看護師長 村松 洋子

矢巾町エリア



盛岡市エリア



南昌病院診療案内

診療時間 9:15~17:00

月	脳神経内科 佐藤 典子	循環器内科 三浦 秀悦
火	内科 小原 進	循環器内科 三浦 秀悦
水	循環器内科 西城 精一	脳神経外科 木戸口 順
木	循環器内科 市川 隆	
金	脳神経外科 木戸口 順	

こずかた診療所診療案内

診療時間 9:00~17:00 (午前/外来診療 午後/訪問診療)

月・水~金	内科 藤島 行輝
火(午前) ※予約制	脳神経内科 石塚 直樹
第4金(午前) ※予約制	脳神経内科 高橋 純子

休診日: 土曜・日曜・祝日

編集後記

◆先日、チャグチャグ馬っこが多くの施設等に前祝祭として訪問し、久しぶりに岩手の夏を届けていただきました。新型コロナウイルス禍で2年間、鬼越蒼前神社から盛岡八幡宮までの行進は中止されていましたが、今年は3年ぶりに復活しました。また、盛岡市は8月のさんさ踊りも感染対策を遵守した上で、実施すると決定しました。新型コロナウイルス感染者数が全国的に減少傾向であり、日常生活が帰ってくるのも遠くないのではと感じさせます。当法人各施設では、入所者等の皆様への面会再開について、時期を逸さないよう情報収集するとともに、感染対策を怠ることなく対応したいと考えています。

◆物価高がメディアを賑わしていますが、コンテナ不足やロシアのウクライナ侵攻、さらに円安が予想以上に進んだことが原因のようです。食料品や燃料、一般消耗品の値上げが発表され、家庭では対応に苦慮しています。同様に病院や施設でも物価高の影響が厳しさを増していますが、いろいろ工夫をしながら、利用者の皆様へのサービスを低下させないよう、安心安全な療養・入所生活等を提供したいと考えています。

医療法人社団 帰厚堂

■南昌病院	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-5211	FAX 019-697-5215
■介護老人保健施設 敬愛荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-3288	FAX 019-697-0641
■グループホーム 若園荘	〒020-0886 盛岡市若園町8-11	TEL 019-601-5501	FAX 019-604-1660
■ケアセンター南昌	〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵衛新田5-335	TEL 019-698-2015	FAX 019-611-2071
◆こずかた診療所		TEL 019-698-3033	FAX /
○訪問リハビリテーションこずかた	/	TEL 019-611-1380	FAX /
◆介護老人保健施設 博愛荘	/	TEL 019-698-2015	FAX / ※
◆博愛荘デイケアセンター	/	TEL 019-697-1526	FAX /
◆デイサービスつむぎ	/	TEL 019-698-2015	FAX / ※
◆訪問看護ステーションやはば	/	TEL 019-698-1388	FAX /
◆ヘルパーステーションやはば	/	TEL 019-698-1385	FAX /
◆訪問入浴介護やはば	/	TEL 019-698-1385	FAX /
◆ショートステイやはば	/	TEL 019-698-2015	FAX / ※
◆グループホーム 敬寿荘	/	TEL 019-697-9002	FAX /

社会福祉法人 敬愛会

▲こずかたこども園	/	TEL 019-698-3008	FAX 019-611-0221
▲矢巾町地域包括支援センター	/	TEL 019-611-2855	FAX 019-611-2937
●特別養護老人ホーム 志和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-100	TEL 019-697-6355	FAX 019-697-6356
●地域密着型介護老人福祉施設 悠和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-698-1661	FAX 019-698-1671
●短期入所生活介護事業所	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-698-1661	FAX 019-698-1671
●こずかたケアプランセンター	〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵衛新田5-335	TEL 019-613-7603	FAX 019-613-7604
●矢巾町地域包括支援センター			
さわやかハウス相談室	〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅14-78	TEL 019-697-5570	FAX 019-697-5570

※ケアセンター南昌代表電話

南昌だより

編集・発行 医療法人社団帰厚堂
印刷 社陵高速印刷株式会社

〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181
TEL 019-697-5211
FAX 019-697-5215
E-mail kikodo@kikodo.or.jp

〒020-0811 岩手県盛岡市川目町23-2

盛岡中央工業団地 TEL 019-651-2110